

「史学論叢」

バックナンバー目次一覧

第一号

(昭和40年)

「史学論叢」創刊の辞

.....

賀川光夫

論説

白河院政下の任内蔵頭について

.....

河野房男

——特に藤原宗忠の場合——

中国における回民商業資本に関する研究ノート

.....

今永清二

——包頭回民経営皮毛店をめぐって——

学界動向

東南アジア史研究の現状

.....

伊東隆夫

第二号

(昭和42年)

論説

筑前観世音寺古代史

.....

小田富士雄

北京回教社会史研究序説

.....

今永清二

後見権・相続権裁判所について

.....

加藤知弘

資料紹介

大分県金石年表(1) 白井昭一

第三号

(昭和42年)

論説

蒙漢の交易と草地売買 田山 茂

フランス絶対王権と領主の商品流通規制権(Ⅰ)
——通行税(Passe)を中心として—— 志垣嘉夫

研究ノート

北京における駱駝業同業の実態
——特に回教徒同業研究のための資料として—— 今永清二

学界動向

アングロノルマン時代史研究に寄せて 松垣 裕

第四号

(昭和44年)

論説

ロシア十月革命と中国 横山 英

撰関家と小野宮流(2) 河野房男

——特に関白頼通と参議資房の場合——

高麗・李氏朝鮮時代における琉球の対朝鮮貿易に関する一考察……………今永清二
地頭とその家臣……………後藤重巳

——豊後志賀氏の場合を中心として——……………後藤重巳
九州の押型文土器について……………橘昌信

——分類と編年——……………橘昌信

資料紹介

史学研究室所蔵文書(1)……………後藤重巳

第五号

(昭和45年)

論説

縄文式文化の起源と押捺文土器の発達……………賀川光夫

右大臣藤原宗忠と日野法界寺……………河野房男

書評

アイユープ・カーン著『パキスタンの再建』……………今永清二

資料紹介

史学研究室所蔵文書(2)……………後藤重巳

第六号

(昭和48年)

論説

右府藤原宗忠の仏教信仰……………河野房男

研究ノート

咸同年間の雲南回民運動と太平天国の關係

——杜汶秀政権の近代的性格に關する基礎作業(二)——……………今永清二

近世期における開畑の性格

——岡藩末期御物成帳の分析數値を中心にして——……………後藤重巳

資料紹介

対島・ガヤノキB地点遺物の再発見……………小田富士雄

第七号

(昭和49年)

論説

右府藤原宗忠の教養とその周辺……………河野房男

北京における回民同業の概況……………今永清二

飛地領支配をめぐる問題点

——島原藩豊州領における史料から——……………後藤重巳

第八号

(昭和50年)

論説

承久京方張本公卿とその家系

——權中納言按察使藤原光親の場合——……………河野房男

島津軍侵入と豊後南郡衆の内応

——入田義実の場合——……………渡辺澄夫

近世末期の凶荒対策に見る支配者動向
——杵築藩・嘉永三年風水害記録の分析——……………後藤重巳

第九号

(昭和53年)

後三条天皇とその周辺の人々(一)……………河野房男

福沢諭吉のアジア観……………今永清二

縦長剝片

——西北九州における縄文時代の石器研究(一)——……………橘昌信

研究ノート

二十世紀初頭インドネシアにおける農民反乱について……………利光正文

資料

九六位山関係史料(一)……………後藤重巳・山中浩司編

第十号

(昭和54年)

論説

後三条天皇とその周辺の人々(二)……………河野房男

中学校教育体制の崩壊

——学徒勤労働員への過程——……………吉田豊治

石 鈔

——西北九州における縄文時代の石器研究(二)——

前高洞窟遺跡の研究

史料紹介

明治期小作関係史料

橘 昌信

坂 田 邦 洋

後 藤 重 巳

第十一号

(昭和55年)

河野房男教授 研究一覽

河野房男教授 略歴

河野房男教授のこと

——『史学論叢』第十一号の出版によせて——

賀 川 光 夫

論 說

後三条天皇とその周辺

大友宗麟とキリスト教的理想国

金末の山東の民乱について

『田染水鏡』について

石 匙

——西北九州における縄文時代の石器研究(三)——

九州の縄文早・前期土器の編年

『延喜式神名帳辯疑』考証

河 野 房 男

渡 辺 澄 夫

林 章

後 藤 重 巳

橘 昌 信

坂 田 邦 洋

伊 藤 勇 人

奴隸反乱の宗教的・民族的側面(一)

—— J・フォークトの奴隸反乱研究を中心として ——

山本晴樹

「辞官以息申任」考

—— 源公忠・江維時の場合を中心として ——

森 猛

特別寄稿

清代イスラム社会研究の課題

…………… 今永清二

昭和54年度史学研究会の活動

第十二号

(昭和56年)

論 説

縦長剝片の折断技術とサイドブレイド

—— 西北九州における縄文時代の石器研究(四) ——

橘 昌信

尾田貝塚

—— 熊本県玉名郡天水町尾田における縄文前・中期貝塚の研究 ——

坂田邦洋

奴隸反乱の宗教的・民族的側面(二)

—— J・フォークトの奴隸反乱研究を中心として ——

山本晴樹

フィールド・ノート

仏教美術の源流探訪(一)

—— 埤仏と塑像の東漸 ——

賀川光夫

新刊紹介

永積昭著『インドネシア民族意識の形成』

…………… 利光正文

第十三号

(昭和57年)

論説

中津藩と「訟平賦均録」

.....

後藤重巳

C. I. L. X V, 1003

.....

馬場典明

—SERVI VICARII の一形態

.....

橘昌信

彫器

—西北九州における縄文時代の石器研究(五)

.....

坂田邦洋

九州の黒曜石

—黒曜石の産地推定に関する考古学的研究

.....

渡辺澄夫

第十四号

(昭和58年)

林章教授 還暦記念号によせて

.....

渡辺澄夫

論説

二品 覚法法親王考

.....

河野房男

豊後国日田荘の成立について

.....

渡辺澄夫

—「弘安凶田帳」の「金剛院領五百町」の検討

.....

今永清二

東北中国の清真寺に関する予備的考察

.....

後藤重巳

—満州回教協会の清真寺名簿を中心

.....

近世期における村と組

—大分郡植田組組割帳から

.....

後藤重巳

九州の黒曜石(II)

— 黒曜石の原産地推定に関する考古学的研究 —

..... 坂田邦洋・中谷昭二
..... 中尾修二・山崎卓也
豊後国司表雑考 森 猛

新刊紹介

シテイスマンダリ・スロト著 『民族意識の母カルテイニ伝』 利光正文
舟知 恵・松田まゆみ訳

Man and Culture in East Asia in Terms of
Archeology and Anthropology Mitsuo KAGAWA